

はじめまして、東濃支部学術部研修担当、大島と申します。朝晩めっきり寒くなり、私の住んでいる恵那の山間地方では、ちらほら野山の紅葉が色づきはじめております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、去る10月13日(土)、中津川市の城山病院にて「入門・ボバースアプローチ」研修会を、ヨナハ総合病院、鈴木徳幸先生を講師に招き開催しました。受講者、スタッフ総勢35名と定員を少しオーバーしての研修会となりました。

午前中は脳血管障害を発症してから二年の患者様の治療実技から始まりました。手技の解釈、解説を丁寧にくださり、その後、各受講者でペアを組み実技演習に入りました。受講者の皆さん熱中して、観察、受講しておりました。



患者様を治療中の場面です。

写真では分かりにくいですが、鈴木先生かなり集中しておられ、額から汗が流れておりました。



治療手技もさることながら、そこに至るまでの観察眼に驚くばかり！

午後、予定では全て講義の予定でしたが、午前中の実技講習での受講者の熱心さが伝わったためか、午前中に行った治療実演を踏まえ、下肢の実技演習中心の講義へ変更となりました。受講希望者多数で、盛況、活発に講習会を終えることができました。

最後に治療デモに協力してくださった患者様、鈴木先生、助手としてお手伝いしていただいた三宅先生(中津川市民病院)、そして受講者の皆様、施設提供してくださった城山病院及びスタッフの皆様、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

研修担当 大島啓貴